

平成30年度
まちづくり活動
アシスト事業報告木とあそぼう！木育がっこう
地域を巻き込んだ木と人と地域を繋ぐ取組砥部みらい会議
木育部会
村上 明子

砥部町は、2005年旧砥部町と旧広

田村が合併した愛媛県のほぼ中央に位置する砥部焼の文化が薫る自然豊かな町だ。その砥部町を活動拠点として「砥部みらい会議」は、わが町の福祉・観光・産業など様々な分野の活性化とネットワークの構築から、今ある資源・人を元気にし、魅力ある砥部町の発信をしていくことを目的としてスタートした。「何からやていく？」「何がやりたい？」と、町内で様々な分野で活動するメンバーが活動の方向性を決めるため、アドバイザーの協力を得てワークショップをしながら活動の柱を考え、部会を作つて活動をしている。

現在砥部みらい会議は、「木育部会」「愛媛FC部会」「防災部会」の3部会で活動をしている。その中でも木育部会では、砥部町内の子どもや地域の人たちに、木のぬくもりや木のおもちゃを通してのコミュニケーションを図り、木を使ったワークショップ、五感を使った遊びを伝え、地域の産業である林業の活性化と地域の活気に繋げることを目的として活動している。「木とあそぼう！木育がっこう」の開催を中心に「木育講座」や「出前木育ひろば」を開催し、町内のイベントや公民館活動、放課後こども教室などで木に触れる機会を作つて

いる。

回を重ねるごとに、木育がっこうに関わってくれる森林組合や林業関係の方、開催している地元高市区の区長、森林環境科を持つ高校の先生や生徒…木や地域に関わる方たちの協力者も参加者も増えにぎやかに開催が続けている。



親子で木に親しんでいます



カブラ(木製ブロック)のおうちができたよ

赤ちゃん木育ルームを作り赤ちゃん親子のほっこり、のんびりした時間を過ごしてもらったり、木育ひろばではダイナミックに遊べる木の玉を敷いたスロープを作りトンネルをくぐったり、部屋いっぱい使つての積み木のワークショップを作ったり。ま



親子で薪割り

た、のこぎりやかなづちを使って作品づくりを楽しんだりしている。砥部町中心部からでも車で30分ほどかかる旧高市小学校での開催だが、回を重ねるごとにリピーターも増え、にぎやかなイベントが開催されている。

平成30年11月17日に開催した第4回木とあそぼう！木育がっこうでは、えひめ地域づくり研究会議主催の「中予地域フォーラムinひろた」をイベント内で開催し、日頃から木に関わる関係者の方、また地域の方にも来場し、木育がっこうの様子を見ていただくことができた。令和元年8月に第6回を数えたこの木育がっこうは、広田地区・高市区地元の方にも継続して運営に協力していただく工夫をしながら、今後も地域のイベントとして継続していきたい。

これからも木を通して、親子のコミュニケーションと地域の良さを再発見する木育を広め、地域を繋ぐきっかけとしていつでも木に触れ、木を感じる環境が町内にたくさんできればいいなと思う。



みんなでおうちを作ったよ

